



2025年1月17日

各位

ALK 陽性肺がん治療薬「アレセンサ」の創製に関し、 第7回日本医療研究開発大賞 厚生労働大臣賞を受賞

- ・ アレセンサの創製について、第7回日本医療研究開発大賞 厚生労働大臣賞を受賞
- ・ 当社の同賞の受賞は第4回に続き、二度目

[中外製薬株式会社](#)（本社：東京、代表取締役社長 CEO：奥田 修）は、「ALK^{*}選択的阻害活性を有するがん治療薬アレクチニブ塩酸塩の創製」に関し、「第7回日本医療研究開発大賞 厚生労働大臣賞」を受賞したことをお知らせいたします。

*ALK：未分化リンパ腫キナーゼ

日本医療研究開発大賞は、我が国のみならず世界の医療の発展に向けて、医療分野の研究開発の推進に多大な貢献をした事例に関して、功績を称えることにより、国民の関心と理解を深めるとともに、研究者等のインセンティブを高めるための賞と位置付けられています。平成29年度に開始され、7回目となる今回、ALK陽性非小細胞肺がん（NSCLC）の治療薬として広く世界で使用されている当社製品アレセンサ[®]（一般名：アレクチニブ塩酸塩）創製について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進の視点から特に顕著な功績が認められ、厚生労働大臣賞を授与されました。当社として同賞を受賞するのは、第4回に続き二度目のことです。

代表取締役社長 CEOの奥田 修は、「今般、アレセンサの創製に関し、日本医療研究開発大賞 厚生労働大臣賞を受賞できたことを大変光栄に思います」と述べるとともに、「日本の研究者らによって発見されたがん遺伝子変異に対して日本の企業として治療薬を創製し、世界中の患者さんの健康と福祉の向上にお役立っていただいていることを誇りに思います。当社は今後も独自のサイエンス力・技術力を核としてイノベーションを次から次へと生み出し、世界中の患者さんが『中外なら必ず新たな治療法を生み出してくれる』と期待する会社になれるよう、邁進してまいります」と語っています。

受賞概要

賞名	日本医療研究開発大賞 厚生労働大臣賞
タイトル	ALK 選択的阻害活性を有するがん治療薬アレクチニブ塩酸塩の創製
受賞者名	中外製薬株式会社
功績・受賞のポイント	<ul style="list-style-type: none">● 最先端の医薬品設計手法を駆使し、非小細胞肺がんの分子標的治療薬となる高選択性未分化リンパ腫キナーゼ（ALK）阻害剤「アレクチニブ塩酸塩」（製品名「アレセンサ[®]」）の創製に成功した。● 間野博行氏（当時自治医科大学、現国立がん研究センター）らにより細胞のがん化・異常増殖に密接に関与する肺がんでの EML4-ALK 融合遺伝子が発見され、この発見を元に中外製薬株式会社がアレクチニブ塩酸塩の開発を成功させた。

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">● 国内及び世界各国で ALK 融合遺伝子を有する進行非小細胞肺がんの 1 次治療としてアレクチニブ塩酸塩の使用が推奨されている。 |
|--|---|

【参考情報】

血友病 A 治療薬ヘムライブラの創製に関し、第 4 回日本医療研究開発大賞 厚生労働大臣賞を受賞
(2020 年 12 月 25 日プレスリリース)

https://www.chugai-pharm.co.jp/news/detail/20201225113000_1059.html

アレセンサについて

アレセンサは中外製薬で創製された、ALK（未分化リンパ腫キナーゼ）に対する選択性が高く、中枢神経系においても活性がある経口剤です。同剤はすでに、日本、米国、欧州、中国、台湾を含む世界 100 カ国以上で ALK 陽性の転移性非小細胞肺がん（NSCLC）に対する一次治療および二次治療に対して承認されています。ALK 陽性肺がんは NSCLC の約 3-5%に見られるとされています¹。日本では、再発又は難治性の ALK 融合遺伝子陽性の未分化大細胞リンパ腫に対しても承認を取得しています。

本剤は 2024 年 4 月に、ALK 陽性 NSCLC の術後補助療法として米国で承認を受け、続けて欧州では同年 6 月に、日本では同年 8 月にそれぞれ承認されています。

上記本文中に記載された製品名は、法律により保護されています。

出典

1. 日本肺癌学会バイオマーカー委員会. 肺癌患者における ALK 融合遺伝子検査の手引き第 4.0 版

以上